



Route Romantique San'in えん 縁の道 山陰

平成 31 年 1 月 28 日
(一社) 山陰インバウンド機構

環境省との国立公園オフィシャルパートナーシップの締結について

～大山・隠岐国立公園を中心とした山陰の魅力を世界に向けて発信！～
DMO初！環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結

山陰DMO（※1）は、環境省（大臣：原田義昭）と、1月21日に「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結しましたので、お知らせします。なお、山陰DMO含む3つのDMOが同時に本パートナーシップを締結しており、日本版DMOとしては初めての締結となります。



1月21日に行われた締結式の様子
於)環境省(東京)
左:原田 義昭 環境大臣
右:山陰インバウンド機構
福井代表理事

山陰インバウンド機構では昨年9月に環境省大山隠岐国立公園管理事務所と訪日外国人誘客に向けた包括的連携協定を締結し、四季の変化に富んだ豊かな自然景観と歴史文化を有している大山隠岐国立公園の魅力を世界市場に向けて発信する取組を進めてきています。

このたびこの取組をさらに発展させていくことを目的に、環境省（本省）とオフィシャルパートナーシップを締結いたしました。

特に欧米の旅行市場において、国立公園は有力な観光コンテンツの一つであり、当機構が取り組む欧米市場向けプロモーションに、国立公園のすばらしさを伝える動画や画像を素材として活用し、国立公園を有する山陰の魅力を効果的に発信してまいります。（取り組み概要は別紙参照）

また、国立公園を満喫するための体験プログラムの情報発信や海外の旅行会社や有名メディアを招聘しての視察ツアーの実施なども一般社団法人せとうちDMO（※2）と連携しながら企画していくことで、更なる国立公園の認知促進と地域の活性化に貢献してまいります。

※1 一般社団法人山陰インバウンド機構・・・鳥取県、島根県、観光関連事業者、金融機関などが参画し、山陰エリアのインバウンドを軸とした観光振興に取り組む。

※2 せとうちDMO・・・官民が参画する一般社団法人せとうち観光推進機構と金融機関・域内外の民間企業が参画する株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションで構成。

※ DMOはDestination Marketing/Management Organizationの略。観光需要の創出と商品やサービスの供給体制の強化を行いながら、多様な関係者とともに持続可能な観光地域づくりを推進している。

【お問い合わせ・お申込み先】

(一社) 山陰インバウンド機構 市村 松川 電話:0859-21-1502 FAX:0859-21-1524

別紙

<取り組みの概要>

- (1) 広域観光周遊ルート「緑の道～山陰～」及びナショナルパーク・ジオパークアクティビティモデルコースにおいて、大山隠岐国立公園及び山陰海岸国立公園（鳥取県部分）が主要な訪問地の一つとして位置づけられていることを踏まえ、海外旅行博・商談会や山陰インバウンド機構のウェブサイト、広報物等の各種媒体を通じて、インバウンド誘客に向け、体験プログラムを含めた両公園の魅力を発信する。
- (2) 大山隠岐国立公園及び山陰海岸国立公園（鳥取県部分）における体験型プログラムの造成・磨き上げや旅行商品化を進める。
- (3) 山陰限定特例通訳案内士の研修等において大山隠岐国立公園及び山陰海岸国立公園（鳥取県部分）の自然や魅力についても紹介し国立公園を案内できる人材を育成する。また、地域在住外国人を活用して国外への国立公園に関する情報発信や国立公園を案内できる人材を育成する。
- (4) その他、必要に応じ、大山隠岐国立公園及び山陰海岸国立公園（鳥取県部分）の誘客の取組を進める。
- (5) せとうち観光推進機構と連携した中国地域の国立公園の情報発信・PRを行う。

<パートナーシッププログラムの概要>

環境省と民間企業・団体が相互に協力し、日本が世界に誇る国立公園の美しい景観と、国立公園に滞在する魅力を世界に向けて発信し、国内外からの国立公園利用者の拡大を図ることで、国内外の人々の自然環境保全への理解を深めるとともに、国立公園の所在する地域の活性化につなげるためのパートナーシッププログラムです。